

東村山市民新聞



194号
定期購読料
一部 150円



毎年1600万円の人件費を上げせ計上

市長の側近・副市長を二人体制に

4期目となり渡部市長ファーストの市政へ

コロナ大不況で 苦しむ市民を横目に



渡部市長

渡部市長は4月から、これまで一人だった副市長ポストを二人体制にすることを表明。

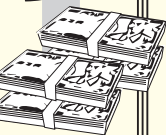
不況や消費税増税、追い討ちをかけてコロナウイルス感染拡大の影響で、会社員の収入減はもちろん、あらゆる市内事業は大きな収入減となり、多くの市民は今後の

見通しも立たずに不安に怯える状況だ。

当然、これからの

市税の減収も予想される中で、市民生活をどう救済するかが今の東村山市の一番大きな課題のほずであるが、渡部市長はこの大不況の中、自分の側近である副市長を増やすことを表明。予算委員会での朝木議員の質疑に対し、渡部市長は、現状では副市長を二人にする必要はないことを認めているが、それでも今年の4月から毎年1600万円の人件費をかけて副市長を増やすというのだ。

にもかかわらず、自民、公明、国



選挙が終わったならさっさと自分たちの報酬の話！ 年間報酬780万円、でももっと欲しい議員たち

東村山市議会議員の年間の報酬は約780万円。

当然だがその原資は東村山市民の血税だ。

東村山市は東京都の中でも財政力は低く、職員の退職金が払えなくなり、東京で唯一、退職金を払うために借金をして、返済は終わっていない。

この状況下、市議会では「議員報酬並びに政務活動費に関する調査特別委員会」なる特別委員

会が設置された。

「自分たちの議員報酬の適正額を調査する」ことが目的で、「決して報酬引き上げが目的ではない」というのが建前の委員会だ。公明党議員と佐藤まさたか議員が中心となり、張り切っ

てあれこれ市と比べてみたり、職員と比べてみたりと、必死で「調査」しているが、そもそも議員報酬の適正額を当事者である議員自身が議論すること自

体、おかしな話。

市民は緊急事態だが、議員たちはあれこれ資料を集めては、東村山市より財政力がある自治体や、長年市役所に常勤職員として勤めている職員と比較し、高い報酬や給与をとりやましがっている。渡部市長と同じく、「コロナ不況などでぐく吹く風。」

議員報酬の「任期中のお手盛り値上げ」については市民の厳しい監視が必要だ。

見通しも立たずに不安に怯える状況だ。当然、これからの市税の減収も予想される中で、市民生活をどう救済するかが今の東村山市の一番大きな課題のほずであるが、渡部市長はこの大不況の中、自分の側近である副市長を増やすことを表明。予算委員会での朝木議員の質疑に対し、渡部市長は、現状では副市長を二人にする必要はないことを認めているが、それでも今年の4月から毎年1600万円の人件費をかけて副市長を増やすというのだ。

にもかかわらず、自民、公明、国民民主、藤田まさみ議員を除く立憲ネット党派（佐藤まさたか、白石、上町各議員）はこの副市長増員案に賛成し、4月からは副市長二人を従えた渡部市政となる。

この方針に対し、市民からだけではなく、何より、市職員から大きな不満の声が上がっている。東村山市は財政難から職員の退職金を払えず、2008年には「退職手当債」を発行しており、この借金をまだ返し終わっていない。この借金をする条件が、職員定数を削減し、完済するまでは職員を増やせないことであったため、東村山市の職員は少ない人数で職務をこなしている。表向きは市長に忖度している職員もいるが、本音では反発している職員は多い。

「子育てするなら東村山」は看板だけ

4月からは国保の保険料が引き上げられる。

他の健康保険と比べて保険料が一番高い国民健康保険だが、他市では、子どもがいる家庭の保険料を軽減している市もある。「子育てするなら東村山」という看板を掲げている東村山にはこの軽減措置は無し。

ベビーカーを引いて歩ける道路はほとんど無く、分娩施設のある産院は無し、待機児童がいても認可保育園の増設予定は無し、と、子

育て応援施策は無い無いつくしの東村山市。学校のピアノの調律さえ、まともにしていない状況。

ちなみに国保の多子世帯の保険料軽減は、年間予算1600万円程度あれば充分にできる。

自分ファーストの市長も市長だが、議会が全く機能していないことも大きな問題だ。

大半が市長の取り巻きのような議員で、市長の出す議案は全部が即日可決。市長はやりた放題。

東村山市の入札はどうなってる？

インサイドリポート

「悪いの家」問題では、事業者が市に提出した委託事業の「見積もり書」の金額がそのまま入札の予定価格となり、見積書を提出した事業者がほぼ100%の落札率で落札していたことがわかったが、東村山市では事業者が出した見積書と入札の予定価格が一致しているものが10%から20%もあり（2016年データ）、落札率については今年度データで、全体の入札のうち、落札率90%以上95%未満が約14%、95%以上99%未満が約26%、そして落札率99%以上の入札件数は約28%で56件もある。

このような実態は、入札予定価格が非公表であるため、市民はこのような実態は知り得ることができない。市民へ入札情報の透明化を。

★納得いかないコーナー

このコーナーは、日頃感じている納得いかないことがらを思い切って世間にごつてみてみようという、意見や情報の交換欄です。編集部も取材し応援します。電話でも葉書でもごつてお寄せ下さい。

① コロナウイルス感染対策で中学校の卒業式は外での見送りのみで、保護者は参加できず、子どもの晴れ姿を見られませんでした。感染防止策はわかりませんが、他のほとんどの市では、保護者も条件付きで参加できたのに、工夫をして保護者参加がなぜできなかったのか、残念でなりません。
(本町 会社員)

② 東村山駅東口のトイレはいつも故障中です。東村山市は修理するお金もないのですか。(諏訪町 会社員)

タウンニュース

東村山市のバス会社がボランティアで運行 コロナ対策で無料の通勤バスが稼働!

マスコミでも報じられ、SNSでも情報が流れているが、市内のバス会社「銀河鉄道」がボランティアでコロナ対策に協力し、話題になっている。

注目されているのは「銀河鉄道」の社長が始めた「らへらく通勤バス」。コロナ感染拡大の影響で、キャンセルとなった観光バスを有効に役立てようと、社長が始めたサービスだ。この「らへらく通勤バス」は混み合った電車で都内に通わなくて済むように、毎朝、東村

山市民を東村山駅東口から新宿丸の内まで、なんと無料で送っている。濃厚接触を避けるため、二人掛けの座席を一人で使用、車内も徹底的に除菌し、市民の役に立ちたい、という気持ちで一日5台のバスを無償で運行。

期間は未定のサービスだが、この取り組みに、実際に乗車して通勤している人たちがこのニュースを知った多くの市民から感銘を受けたという声が上がっている。



銀河鉄道は、都心へ通勤する皆さんを、安心してお送りします!

かんはろう! 日本!

大型観光バスで地域の皆様を安全に都心までお送りします。

銀河鉄道のらへらく通勤バス!

3/12(木) 運行開始! ※事前予約制 **無料**

東村山駅東口	新宿駅西口 東京モード学園前	東京駅 新丸の内ビル前
第1便 6:00発	7:30頃着	8:00頃着
第2便 6:30発	8:15頃着	※第2便は新宿駅で運行終了

時、被災地まで出向くボランティアの方たちを無料で送り届けている。市民の心強い味方だ。

朝木直子 VOICE

朝木直子略歴
▽諏訪町出身、化成小・二中、都立高武蔵・慶應大卒/会社勤務/高齢者団体役員/母・明代議員殺害事件後、遺志を継ぐ/地元FM局で番組作り/1999年から市議、現在6期目(草の根市民クラブ)



▶ 私は議員報酬のお手盛り値上げに反対し、任期中のお手盛り値上げおよび市職員より多いボーナス減額提案分は受け取り拒否しています。

2020年3月時点での議員報酬返上額合計 **567万6,410円**

絶対NO!

議員報酬のお手盛り値上げは絶対NO!

1面でお伝えした通り、議会では「議員報酬および政務活動費の適正額調査委員会」なる特別委員会が設置されました。「議員報酬の適正額を調査する」という建前にはなっていますが、本音は報酬を引き上げたくて必死の議員が大半。私は以下の理由で、議員報酬や政務活動費の引き上げは絶対に認めない立場で委員会に臨みます。

① そもそも、報酬の適正額は自分たちで議論するものではなく、第三者の機関で議論するもの。

② 選挙に出る際には、現在の議員報酬や政務活動費の額を前提として立候補したはず。当選後になって議員をやめてからの補償がないのだ、何年やっても市課長より安い報酬だのと言ふのなら議員に立候補しなければ良いのです。

③ 当市の財政力は未だに脆弱で、市民に我慢を強いている状況の中、年間780万円もの報酬額を受け取りながらまた少ないとして引き上げるのは言語道断。

しかも、ほとんどの議員は、議員になる前の収入より議員報酬の方が高いのです。

足りないのなら、アルバイトでもするべき。納税者市民は皆そうしています。税金にたかるのはお門違いです。



編集後記

2020年となり、1995年9月に発生した朝木明代議員の殺害事件から25年目。1995年は阪神淡路大震災や地下鉄サリン事件、オウム教団教祖麻原達捕など、歴史に残る事件が起きた年でした。

1987年に東村山市議に無所属で最下位初当選した朝木明代議員は、「草の根市民派」議員として活動し、1991年、1995年の選挙ではトップ当選を果たし、殺害される3年ほど前からは創価学会脱会者などの相談を受け、救済活動をしていました。

しかし、朝木明代議員は、1995年9月1日に、東村山駅前のビルから落とされ殺害されました。事務所には打ちかけのワープロが開いたまま、遺書はなく、ビルから落ちる際に、悲鳴をあげ、裸足でした(靴は見つからない)。この状況下で、当時の東村山警察署の捜査担当者であった副署長は早々に、「万引きを苦にした自殺」と決めつけた情報をマスコミにリークし、このことは国会でも問

～朝木明代殺害事件から25年目～

私も朝木明代議員の娘である朝木直子議員も、25年目の節目に際し、気持ちを新たに、朝木明代議員が積み上げてきた草の根民主主義、そしてこの東村山市民新聞発行の活動を続けていきます。

発行人編集長 矢野ほづみ